

# —平成28年度 出前県議会— 議員と語ろうイン中部地域(由布市)



○日 時:平成28年11月14日(月)13:30~16:00  
○会 場:湯布院福祉センター  
○参加者:44名(うち議員12名、意見発表者5名)



○開会あいさつ 末宗広報委員長



○主催者あいさつ 田中議長



○来賓あいさつ 首藤由布市長

○一般社団法人由布院温泉観光協会 副会長 富永 希一  
【滞在型保養温泉地へ向けた取り組み】  
・五感で味わう観光や地域の人が住みやすい観光地の提案  
や子どもたちを中心にしたまちづくりについて



豊後大正ロマン街道  
○大湯鉄道物語実行委員会 幹事長 平岡 公寿  
【まちづくりと地域振興】  
・地域の歴史教育の重要性について

地元の食に対する取組や倍増する訪日客に対応する労働力不足などの課題についての問題提起や、インバウンドに対する県や議会の取組に対して等の質問が出されました。



○司会 馬場副委員長

湯布院の観光地づくりにおける地域の住民への周知、協働の取組の大切さ大分の地域の歴史を子どもに伝える歴史教育の重要性を改めて認識した等の感想が出されました。

○大分県いちご販売強化対策協議会 会長 田中 廣幸  
【地域農業の一翼を担って】  
・農業従事者が農村を守っていること、県外のいちご品種ではなく大分県の品種のいちごへの期待について



○株式会社 取締役常務 吉瀬 功勉  
【地域性買い物困窮者、所謂「買い物弱者」の方々への支援方法について  
—地域差軽減のために—】  
・個別宅配の販売を実施するうえでの課題について

○社会福祉法人真わ会  
特別養護老人ホーム「白心荘」事務長 牧野 由美  
【震災から見てきたこと～社会福祉法人と福祉避難所～】  
・熊本地震を被災した経験から見た課題について



井路の維持管理や買い物弱者に対する行政との連携についての質問や震災の経験を活かした取組をしてほしい等の要望や感想が出されました。



たくさんの方の参加と活発な意見交換がされ、最後に意見発表者と来賓、議員と記念写真を撮りました。